

景観形成の基本原則 3 暮らしの営み

構成要素（１）生業の風景

古来より人々の暮らしを支えてきた生業の場である農地（ノラ）は平地に広がり、また斜面に沿うようにつくられ、里山や奥山（ヤマ）や居住空間（ムラ）と一体となり農の風景をつくっています。また、地域の風土の中で培われてきた茶筌や竹器製造、酒造りなどが固有の伝統産業の風景を生み出しています。

農の風景

平地に広がる農地や斜面に沿った棚田が背後の里山や集落の居住空間と相まって農の風景を作る。農の風景は季節によって異なる表情を見せる。



ヤマ・ムラ・ノラで構成される農の風景



田植え直後（春）



稲穂が育つ頃（初夏）

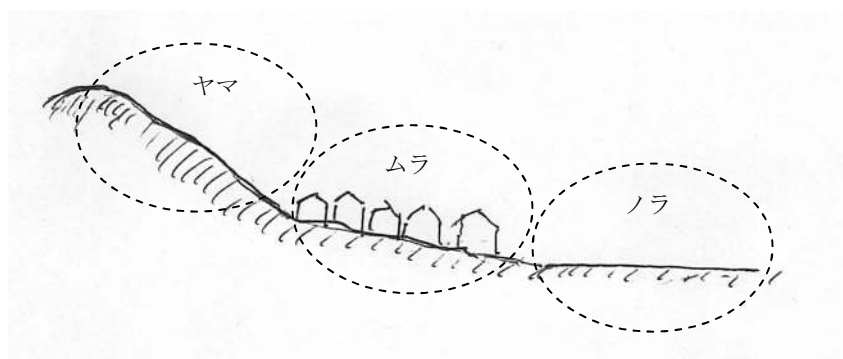


収穫間近の頃（秋）
季節により異なる表情



稲刈りの後（晩秋～）

農の風景を大切にすること。そのためヤマ、ムラ、ノラという空間の構成を尊重すること。



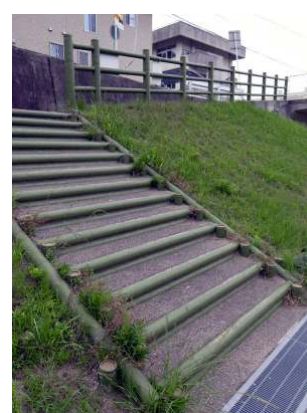
伝統産業の風景

茶筌や竹器の材料となる竹の寒干しが茶筌の里ならではの、また古くからの造り酒屋が地域に固有の伝統産業の風景をつくる。



一年で最も冷え込む2月初旬に見られる竹の寒干しの風景

古くからの茶筌師の家は農家に混じって点在し、昔からの屋敷を守って、もっぱら茶筌づくりに精魂を打ち込んできた。職人の街、夜業の街といわれた茶筌の里はここである。『生駒市誌Ⅴ』



茶筌や竹のイメージはデザインモチーフとして引用される



生駒の造り酒屋



上田酒造（老分）



中本酒造（上町）

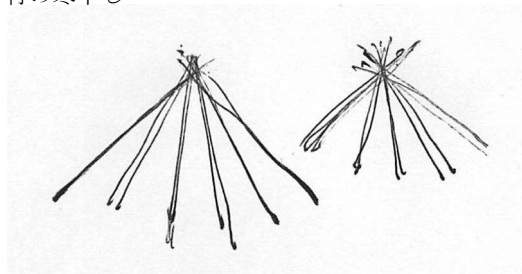


菊司酒造（小瀬）

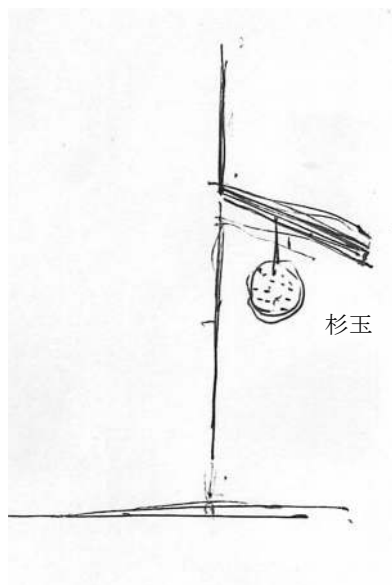
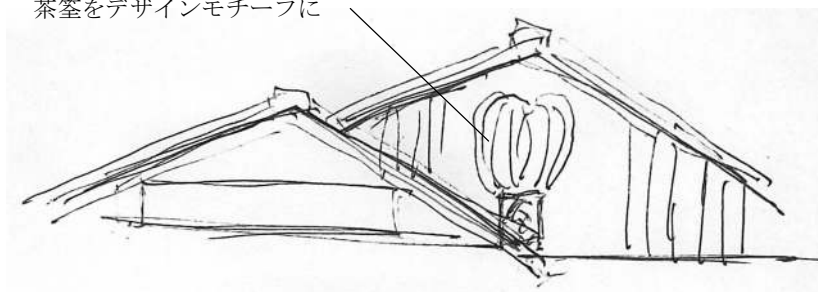
菊司酒造（小瀬）

培われてきた伝統産業の風景を守ること。デザインモチーフとするなど、伝統の雰囲気を継承するよう工夫すること。

竹の寒干し



茶釜をデザインモチーフに



構成要素（２）仮設の風景

毎年めぐってくる年中の様々な祭事や催事、人生の節目で訪れる儀礼は、暮らしの中に根付いた文化として受け継がれてきました。これらの特別な時期には見慣れた風景も特別な装いを見せます。それは常時目にする日常の風景に対し、一時的に表れる仮設の風景でもあります。

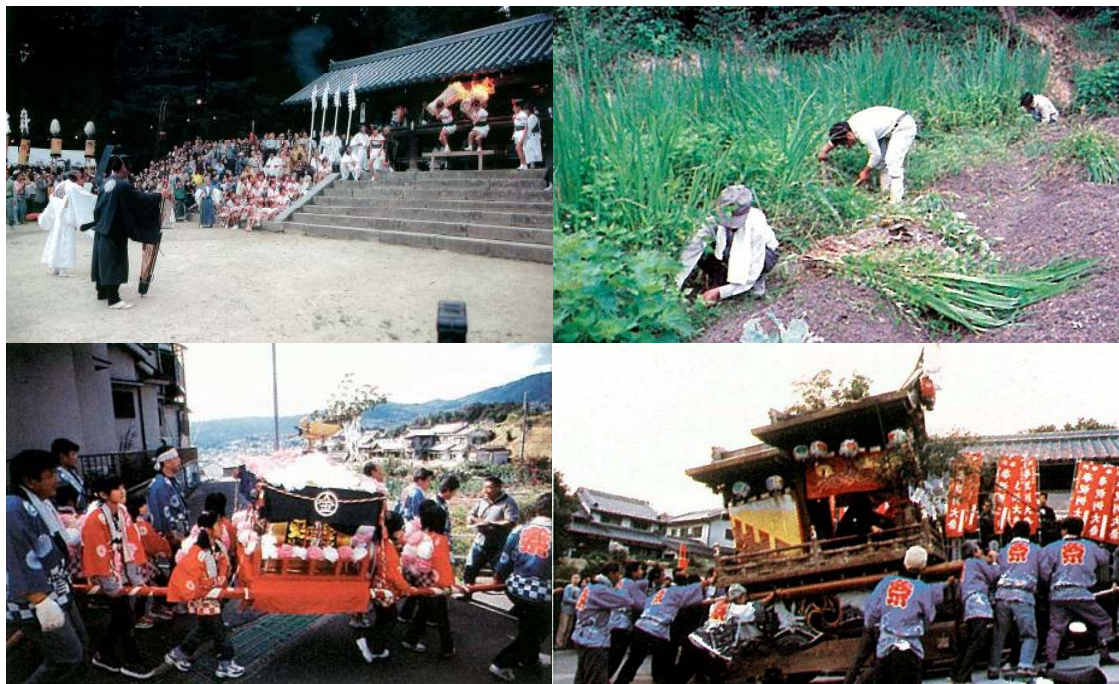
ハレとケの風景

定例で執り行われる年中行事が日常の風景をハレの風景に変える。また、人生の中の節目で執り行われる儀礼が暮らしの場を特別な場に変える。

生駒の主な年中行事

1 月元旦	歳旦行事〔さいたんぎょうじ〕
1 月元旦黎明	往馬大社追鶏祭〔いこまたいしゃとりおいのまつり〕
1 月中旬	小正月・トンド
2 月 3 日節分	宝山寺節分星祭〔ほうざんじせつぶんほしまつり〕
4 月 1 日	宝山寺大護摩会式〔ほうざんじおおごまえしき〕
4 月第 1 日曜日	八大龍王春季柴燈大護摩供〔はちだいいりゅうおうしゅんきさいとうおおごまく〕〔鬼取町〕
5 月 5 日	往馬大社御田植祭〔いこまたいしゃおたうえさい〕
6 月 30 日	往馬大社夏越大祓〔いこまたいしゃなごしのおおはらえ〕
8 月 15 日	往馬大社千燈明祭〔いこまたいしゃせんとうみょうさい〕
8 月 20 日	長弓寺大般若会〔ちょうきゅうじだいはんにやえ〕
9 月秋分の日	宝山寺万灯会〔ほうざんじまんとうえ〕
10 月体育の日の前日	往馬大社例大祭（火祭り）〔いこまたいしゃれいたいさい〕
10 月体育の日	素盞鳴神社例大祭〔すさのおじんじゃれいたいさい〕 伊弉諾神社例大祭〔いざなぎじんじゃれいたいさい〕
10 月第 3 日曜日	高山八幡宮例大祭〔たかやまはちまんぐうれいたいさい〕
10 月 15 日	住吉神社例大祭〔すみよしじんじゃれいたいさい〕
11 月第 3 か 4 日曜日	宝山寺般若窟柴燈護摩供〔ほうざんじはんにかくつさいとうごまく〕
11 月勤労感謝の日頃	新嘗祭〔にいなめさい〕
12 月上・中旬	ご回在〔ごかいざい〕
12 月 16 日	宝山寺大鳥居大注連縄奉納〔ほうざんじおおとりいおおしめなわほうのう〕
12 月下旬	住吉神社南田原長寿講カンジョウ縄奉納祭〔すみよしじんじゃみなみたわらちょうじゅこうかんじょうなわほうのうさい〕
12 月 31 日	往馬大社師走大祓〔いこまたいしゃしわすおおはらえ〕

様々な伝統行事の風景
(往馬大社)



火取り行事 (往馬大社)

コモキリ (高山八幡宮)

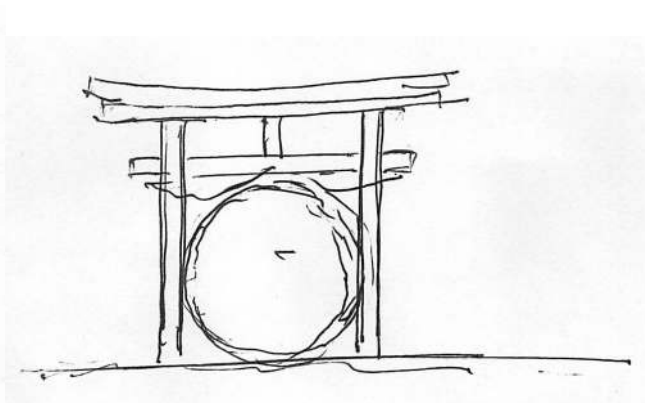
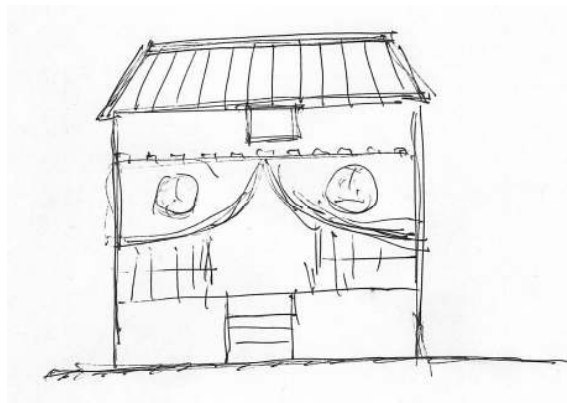
御輿 (琴平神社)

ダンジリ曳き回し (天満神社)

出典：『生駒の祭礼』(教育委員会)

年中行事などのハレの時間や、暮らしの中の儀礼など人生の特別な時間（ハレとケ）を演出するための空間装置を用意すること。

祭りの装い



構成要素（３）身近な環境改善のアクション

一人ひとりが自らの身近な環境に対して目を向け、より良くしていこうという意識が芽生えることで具体的な取り組みにつながり、それが景観に良い影響を与えます。意識を醸成し、取り組みを始め、活動を広げていくプロセスにおいて、一人のアクションからグループや地域のアクションへと広がっていきます。

アクションできる余地

環境美化や自然保全、まちづくりの活動が身近な環境を改善し景観の質を高める。

【環境美化活動】

・みれにあむ

生駒南中学校 PTA 役員 OB。「環境、教育、福祉について、各種課題を討議し実践していく」を目標に掲げ、竜田川の環境改善にも取り組んでいる。

・グリーンボランティア「いこま宝の里」

毎月第 3 土曜日を定例の活動日として、広葉樹林主体のイモ山公園・樹林内の草や笹を刈ったり、風倒木や伸び放題の徒長枝などの不要木の伐採などの整備

最近では、地元子ども会の学習会をはじめ、生駒市内の小・中学校 20 校の樹木剪定活動も手鋸主体で行っております

・「オリーブの会」

「花のまちづくりセンター設立市民懇話会委員」として、ふろーらむの開園計画に参加し、施設と運営の両面で関わってきた。

その後有志が立ち上げ、園内の植樹や花壇の植栽、地域の公園の花壇のお世話をしている。

・光陽台中央公園 ひまわりの会

花が好きな地域のメンバーが集まり、光陽台中央公園を安らぎの場所にすることを目的に、花壇の世話をしている。

【自然保護活動】

・里山保全

E C O K A 委員会

継続的な緑地の管理、良好な自然環境の保全と緑地再生、里山的な自然の保全活動を実施

・いこま里山クラブ（平成16年7月発足）

スギ・ヒノキを植林した人工林の森の中で間伐したり、下草を刈ったりということではないでしょうか。しかしこれは一部分でしかありません。その他にも道を補修する、新しく道を付ける、野鳥の巣箱をかける、植樹する、さらには子ども達を集めて環境教育を開催する（一緒に遊ぶでも良い）といったことも活動の一環として活動している

・いこま棚田クラブ

暗越え奈良街道沿いに広がる、歴史的に由緒ある棚田の景観を後世に残そうと、荒廃している棚田の手入れをしている。棚田を生産の場所としてだけではなく、多様な生態系の保全と次世代を担う子供たちの自然学習の場として活用することをめざしている。

【住民協定】

鹿ノ台地区計画（平成3年施行）

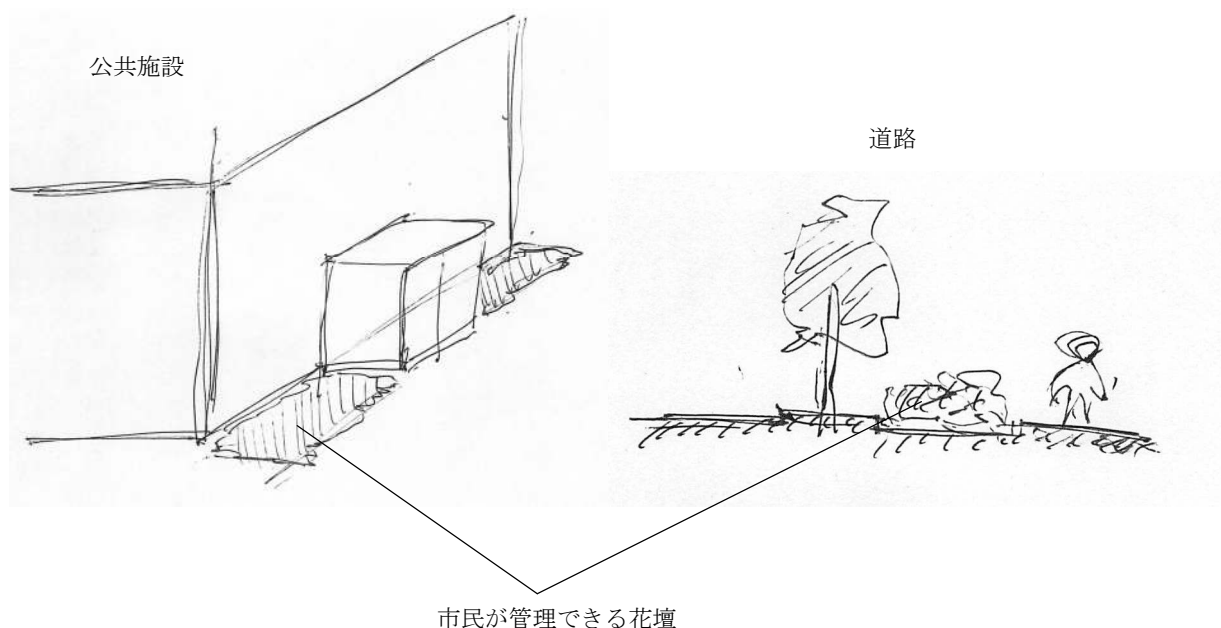
地区の整備・開発及び保全に関する方針：地区整備計画：敷地面積、用途、色彩、屋外広告物など
鹿ノ台花づくり住民協定（平成22年10月1日）

公的スペースにおける花壇の整備・維持管理等の花づくりに関するルール（花苗の植え付け、水やり、除草など）を定めている

平成21年度 国交省 手づくり郷土賞受賞（緑化事業）

平成22年度 奈良県環境保全功労賞（緑化事業）

つくりこみ過ぎないこと。人々の活動が環境に良い影響を与えられるような余地を残しておくこと。公共空間に市民が管理に関われる空間を用意すること。



アクションを意識づけるきっかけ

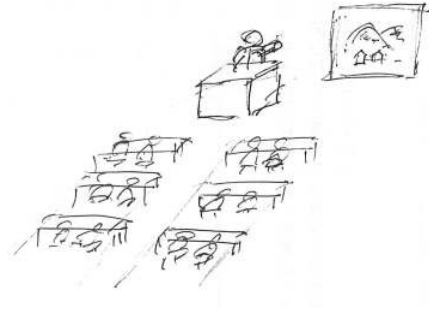
自らの暮らしと身近な環境の関係に気づくことがアクションのきっかけとなる。

【まち歩き・タウンウォッチング】

まちづくり塾では、公募により集まった市民が、まちづくりや景観の専門家から話を聴き、学習した。実際にまちに出て、まちの細部を観察するなどした。



人々が身近な環境に目を向けるきっかけをつくる機械を用意すること。



構成要素（４）人々の原風景

人々が目にする風景は、それを見る者の価値観が反映されたときに景観として立ち現れてきます。人は誰でも人格を形成する過程で体験した風景画原風景として心に刻み込まれています。原風景は、景観の見方や感じ方、景観を評価するときの価値観に無意識下で影響を与えています。

語り継がれてきた風土への思い

後世に伝えていきたいふるさとの風土への思いが校歌や校章に託されることがある。また、人々が土地に対して抱いた印象や思いは地名として語り継がれる。

<小学校の校歌に謳われた風土のイメージ>

生駒山

- ・「どっしり」「強い」と結びつきが強い。「霊峰」や「仰ぎ見る」など、神聖さの表現も使われている。

矢田の丘（矢田丘陵）

- ・「清い」など、比較的軽くさわやかな表現が用いられている。

生駒川（竜田川）・富の小川（富雄川）

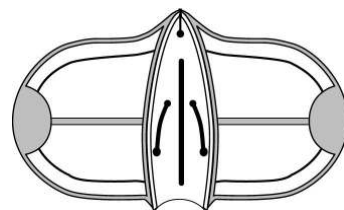
- ・「きらきら」や「さわやか」、「せせらぎ」など、清い流れと結びつきが強い表現が用いられている。
- ・竜田川水系、富雄川水系ともに、「歴史にかおるふるさと」など、古い歴史に言及する表現が用いられている。

」

<生駒山をモチーフにした校章>

桜ヶ丘小学校

- ・中心部のペンの先端が生駒山を表現している



俵口小学校

- ・上部の曲線が生駒山の山並みを表現している



<語り継がれてきた地名>

○竜田川流域

- ・有里・・・中央奈良盆地に条里制を敷かれた頃、里と呼ぶ集落名を付けた。
- ・萩原・・・萩の自生する丘。つい最近までこの地方の丘には萩が多く、秋の月見には尾花とともに

風情を添える丘陵であった。

○富雄川流域

- ・ 宮方・・・古代地名で、高山八幡宮の元宮としての杜八幡の「御県」が、宮方の地名のおこりである。

○山田川流域

- ・ 鹿畑・・・鹿が住んでいたことにあるようである。・・・小高い山並の日当たりのよい丘に畑があって、そこに鹿が群れている情景を思い浮かべられる土地柄でもある。
- ・ 上・・・鳥見上庄に由来すると思われる。鳥見谷から鷹山谷にかけては、古来より野鳥が数多く生息していたと思われる。この谷は竹藪多く、林相も、鳥類の生息や繁殖に格好のものだったろう。

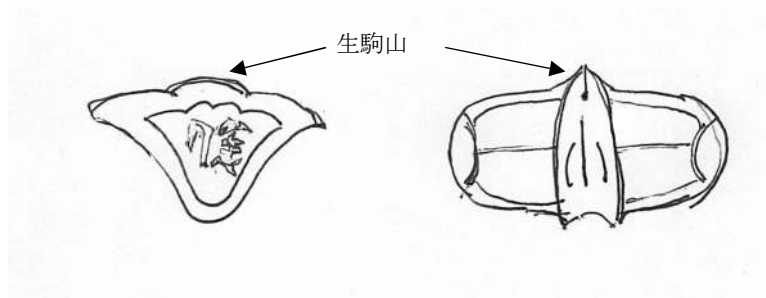
○天野川流域

- ・ 田原・・・峠を越え、峡谷を溯ってこの地に入った時、狭いながらも田んぼの原っぱが広がっていたことに、起因するのだろう。

(出典：『生駒市誌Ⅴ』)

先人が伝えてきた風土への思いを確認すること。地域の小中学校の校歌や校章、地名がそれらの手がかかりとなる。

生駒山をモチーフにした校章



名所の風景

誰もが美しいと感じ、また魅力を感じるパターン化された風景がある。生駒では生駒八景として名所の風景が選定されている。

<生駒八景>

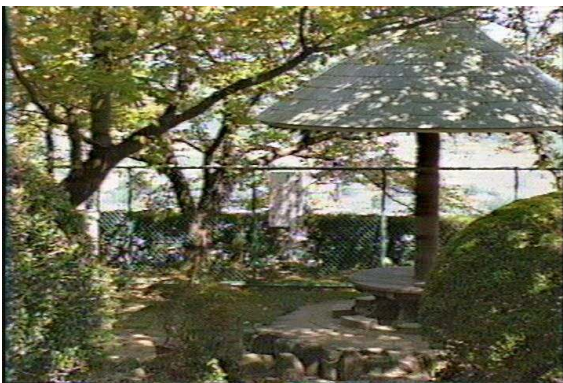
往馬神社や宝山寺、暗峠、滝寺公園など、生駒谷の古い歴史に関わる場所や、くろんど池など高山地域の生業を支えうるおいを与えてきた場所、さらに生駒山上や山上からの夜景など、本市の現代的な景観が、生駒を代表する8つの風景の場所として大切にされている。



1 宝山寺（生駒聖天）



2 暗峠



3 梅屋敷



4 生駒山上



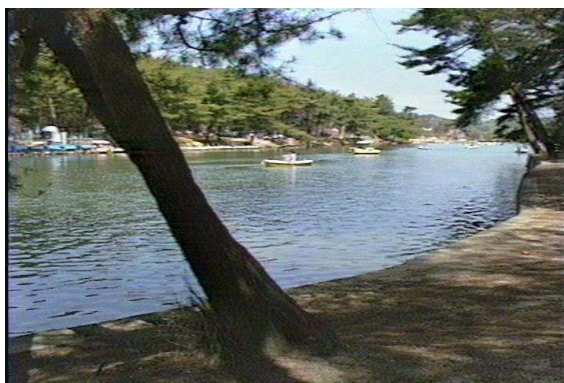
5 滝寺公園



6 往馬大社



7 生駒夜景

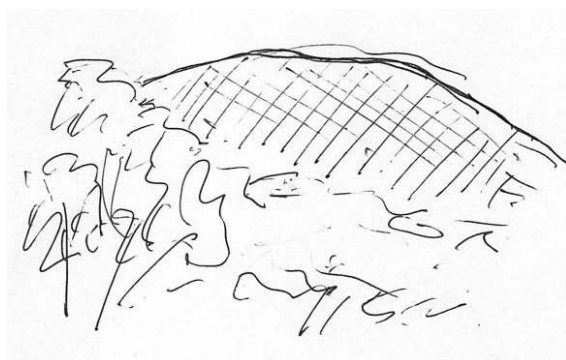


8 くろんど池

名所として伝えられてきた風景に学ぶこと。

生駒八景

生駒山



くろんど池

